

ガーデンシティふかや推進室[ふかや緑の王国・深谷市榎引24-2(花植木流通センター隣)] ☎551-5551

花を愛し、人を愛し、地域を愛するまちづくり!!

申し込みが必要なイベント

プロが教える植木の剪定教室

王国の樹木を使いプロが指導します。ご自宅の樹木に関する疑問にお答えします。

とき 3月4日(土)午前10時～正午 定員 先着10人
参加料 500円 持ち物 剪定バサミ、ガーデン手袋や軍手
講師 松崎和夫氏(厚生労働省「ものづくりマイスター」)
申し込み 2月13日(月)午前10時から電話でNPO法人うるおいのまち(☎580-7892)へ ※作業しやすい服装でご参加ください。

その他、寄せ植え体験、王国体験スタンプラリー、白バイ展示、消防車展示、コンテストの作品展示、飲食物のテイクアウト販売、野菜・花の販売、木工工芸品の販売、ステージイベントなどを予定しています。

100種類を超える梅の競演

3月4日(土)

午前10時～午後3時
(雨天決行)

※一般のかたは施設内の駐車場を利用できませんので臨時駐車場をご利用ください(障害者用駐車場は施設内正門側にあります)。

臨時駐車場:花植木流通センター(隣接)、JAふかや榎引プラザ(徒歩約12分)

梅まつり

第15回 ふかや緑の王国



4月29日(祝)・30日(日)

第20回 ふかや花フェスタ

参加者募集!

今年は深谷テラスパーク(黒田41)で開催!

1 ガーデニングコンテスト作品 申し込み 4月14日(金)まで

- ①コンテナガーデン部門 (50作品) 縦横70cm以内、高さ自由、切り花以外で制作
- ②ハンギングバスケット部門 (50作品) 縦横70cm以内の壁掛けタイプ、切り花以外で制作、作品の背景などの装飾不可
- ③オリジナル箱庭部門 (30作品) 主催者が用意する縦横52cmの箱を使用、高さは自由

2 ステージイベント出演者 申し込み 2月27日(月)まで

- ①フラダンス部門 ②キッズダンス部門 ③その他部門 各部門7団体募集 ※応募者多数の場合は抽選

3 販売出店者 申し込み 2月10日(金)午前10時～28日(火)(先着順) 電話で深谷テラスパーク(☎579-2022)へ

出店料 1店舗(5m×5m区画) 円形内8,000円、円形外6,000円、秩父鉄道ふかや花園駅前緑地広場5,000円 ※テント代別
募集店舗数 キッチンカー出店11店舗、テント販売出店(物品販売、飲食販売どちらでも可)35店舗

- 応募要件
- ①物品販売は、花、植木、ガーデニング用品など、花フェスタの開催趣旨に反しないものに限る。
 - ②飲食販売は、保健所より営業許可を得ているかた。営業許可証の写しの提出が必要。
※電源に限りがあるため、場合により各自で用意。各自でテントを用意した場合は重りなどで固定。

[1・2]申し込みは電子メール(☐garden@city.fukaya.saitama.jp)、またはFAX(☎551-5552)でふかや緑の王国へ。

詳しくは、各募集要項(市役所・公民館・ホームページで入手可能)をご覧ください。

[3]申し込みなど、詳しくは、深谷テラスパーク(☎579-2022)までお問い合わせください。

王国自然クラブメンバー募集

対象 市内の小学校3年生～6年生(令和5年4月現在)
とき 1年間(原則:毎月第1日曜日午前9時～正午)
ところ ふかや緑の王国 定員 20人(応募者多数の場合は抽選) ※抽選日3月12日(土)午前10時～
申し込み 2月12日(土)～26日(日)
参加希望者説明会 2月12日(土)①午前9時～、②午前10時30分～(※同一内容を2回実施) 詳しくは、ふかや緑の王国ホームページをご覧ください。



王国自然クラブサポーター募集

王国自然クラブの子ども達と毎月一緒に活動するサポーターを募集します。主な活動は、四季を通じて「学び」「遊び」「挑戦」をしながら、子ども達だけではできない部分のサポートです。詳しくは、ふかや緑の王国へお問い合わせください。

『ガーデンシティふかや』『ふかや緑の王国』ホームページのほか、ツイッター(@garden5551)、『ふかや緑の王国』フェイスブックもご覧ください。



手話 de おはなし



手話に興味はあるけど難しそう…。そんなかたも、身近なあいさつからチャレンジしてみよう!

(手話協力 深谷市聴覚障害福祉協会)

冬・寒い



両腕と身体を縮こませ、両手こぶしを上に向けて左右に震わせる

春・暖かい



両手のひらを上に向けて腹からあおるように上げる動作を繰り返す

障害福祉課 (☎571-1011 ☎574-6667)

畠山重忠を知る



武蔵武士の鑑

畠山重忠

⑭深谷に残る古道
深谷市内には鎌倉街道と伝わる「古道」が幾つか存在します。このうち「上道」と呼ばれる主要道が畠山重忠の本拠地である畠山内西端を通り、荒川北岸に渡り、荒川沿いを寄居町との境まで向かい、方角を変えて北へ向かうと考えられており、一部掘割状の遺構が残ります。「上道」の支道にあたる伝承路線は、上敷免地内と榛沢地内に存在します。上敷免地内の路線は、稲荷町の瑠璃光寺を通って北上し福川を渡り、集落の中央を通過して、水田の中を北へ続く幅2m前後の農道となり、上敷免の泉光寺前に至ります。旧幡羅郡と旧榛沢郡の郡境とほとんど重なっており、古道として

の性格をよく示しています。その先は沼尻方面や高島方面、中瀬方面に向かったとする説があり判然としません。榛沢地内の路線は、寄居町赤浜地内から渡河して北上し、本庄方面に向かう道で、「榛沢瀬」とも呼ばれるものです。伝承では、源頼朝が巻狩りの際に榛沢瀬左衛門という人物に築かせたといわれ、針ヶ谷の弘光寺西側には鎌倉街道と伝わる道があります。また、この他にも、身近な所に鎌倉街道と伝わる道が存在するかも知れません。鎌倉街道という呼び名は江戸時代になってから使用され、鎌倉時代の道のみならず「古くからの道」を呼びわしている場合が多くみられることから、室町時代、あるいは鎌倉時代より古い道もそのように呼ばれた可能性があります。江戸時代に整備された中山道についても、一部は幡羅官街遺跡や中宿遺跡が機能していた奈良・平安時代の伝路郡と郡を結ぶ道の一部踏襲している可能性が考えられます。古道は、歴史を伝える重要な要素の一つといえます。